

1 保護者の学校評価の回収率について

- ・令和3年度よりも増え、令和4年度は50%以上の回収率となった。新型コロナウイルス感染症対策をしつつ保護者の出入りや行事参加が若干緩和されたこと、学校評価の項目を見直したこと等が回収率向上の理由と考えられる。今後、さらなる回収率向上のため、実施期間の検討や回答方法をWeb上でできるようにするなどの改善策を検討するようにする。

2 保護者の学校評価の考察と改善策について

- ・転入後まもない保護者からは無回答が多かった。
- ・「あてはまらない」と回答している保護者は、「自分の子どもが学校に通っていない」という観点から回答しており、来年度、質問項目の文言を見直す。
- ・最も低い平均点であった項目は、無回答数も7名と最も多かった。当該項目は、昨年度も評価の低かった項目であり、新型コロナウイルス感染症感染予防対策のため、保護者同様、本校への出入りを制限し実施できていないことが反映されていると考える。
- ・「8 (略) 感染症対策等の対応について、保護者と連携して十分対策を取ることができている。」が最も高い平均点であり、本校の感染症対策については御理解いただいていると捉えることができる。濃厚接触者として自宅待機していただくことも複数回あったが、今後も感染症予防対策について御理解いただけるよう根拠に基づいた丁寧な説明に努めていきたい。「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、感染症予防対策とともに地域との連携についても実施方法の工夫を検討することが必要だと考える。
- ・学校が発信する情報（学校便り、PTA便り、ホームページ、一斉メール等）について昨年度より評価が下がったが、A及びB評価がほぼ90%であることから、これまで同様の取組を進めるとともに、学校便りやホームページ等の内容の充実を図るよう努めることが大切だと考える。
- ・今年度は、A及びB評価が100%となる項目があった。項目の内容から、日頃から先生方が児童生徒等の指導とともに保護者対応についても丁寧に行っていたことの結果だと考える。今後とも、児童生徒等の的確な実態把握に基づいた指導及び丁寧な保護者対応をお願いいたします。
- ・保護者からの御要望については、学校全体でも環境整備に努めていくとともに、病院でのオンライン授業の実現に向けて今後も協議を進めていきたいと考える。

3 教職員の学校評価の考察と改善策について

- ・評価が高かった項目は、児童生徒等に対する人権意識や安心できる学習環境の整備、一人一人の障害の特性や発達の状態に応じた指導に関する項目であることから、本校教職員がこれらの項目に高い意識を持って取り組んでいると考えることができる。
- ・全ての評価項目について、4、3を合わせた評価が70%以上（昨年度は60%以上）であったことから、本校教職員が、本校の経営計画に基づいて教育活動等に取り組んでいると考えることができる。
- ・平均点が低かったり、昨年度より評価が下がったりした項目は、働き方やワークライフバランスについてであった。自由記述と合わせて考えると、今年度は働き方や勤務状況について課題が見られたと考える。改善に向け、各学部、分掌、管理職で対応を考えていく必要がある。
- ・教職員の回収率は100%であったが、無回答が複数名いたことや自由記述と合わせて考えると、学校評価の質問内容や項目について次年度、見直しを図る必要がある。